

2002年度

山 南 東 京 同 窓 会

2002年12月3日(火)



第1部 総 会 (18:00~18:30) チェリール ー ム

第2部 懇親会 (18:30~20:30) ダイヤモンドルーム

会場 ホテルグランドパレス

◇ 校 歌 ◇
山形南高等学校校歌

作 詞 神 保 光太郎
作 曲 信 時 潔

一 ひんがしに 碧き蔵王嶺 晴れわたるみちのくの空
日本の未来よ このひとすぢに 君とわれ ここに学ぶ
われら われら 山形南高等学校

二 はるかなり 最上の流 五月雨をあつめて迅く
真理の夜明けよ このひとすぢに 君とわれ ここに競ふ
われら われら 山形南高等学校

三 風渡る 村山の野よ 夢に見るうるはしふるさと
青春の誓ひよ このひとすぢに 君とわれ ここに究む
われら われら 山形南高等学校

山形第二中学校建学歌

作 詞 西 山 滝 蔵
作 曲 久木原 定 助

一 千歳の山の 学びの窓に 教を仰ぐ 御民われら
畏き御勅 心にきざみ 皇運永久に 扶翼まつらん

二 最上の川の 濁らぬさまを 学びて励む 学徒われら
質実剛健 この身に体し 負荷の大任 果しまつらん

三 太平洋の 逆巻くあした 豊栄のぼる 二中われら
忠誠勇武 敢然起ちて 聖の業に 命捧げん

山形第二高等学校校歌

作 詞 神 保 光太郎
作 曲 信 時 潔

一 仰ぎ見る 父なる山よ みちの奥 永遠の春を求めて
君 われに示し 吾 きみに学びて ああ今日も ここに思ふ
新しき真理の 夜明け 二高二高 われらが山形二高

二 遙かなり 母なる河よ 最上川 五月雨をあつめて清く
君 われを洗ひ 吾 きみと誓ひて ああ今日も ここに思ふ
新しき真理の 夜明け 二高二高 われらが山形二高

三 かぎろへる ゆくて明るく 北の国 若き命の花燃えて
君 われときそひ 吾 きみと結びて ああ今日も ここに思ふ
新しき真理の 夜明け 二高二高 われらが山形二高

◇ 応 援 歌 ◇

空 は コ バ ル ト

- 一 空はコバルト 大地は招く 二 若さに誇る 眉あげて
我等が指の 指すところ 希望の明星 仰ぎつつ
南高健児の 憧れの 風は試練の むちの音と
緑色増す 千歳山 鍛え鍛えし 我が腕
若き命は 輝きて もえたつ命の 我が春に
我等が胸は 湧きかえる 丘の桜も 乱れ散る
丘の桜も 乱れ散る

お お 九 百 の

- 一 黒雲やぶり 今荒れる 蔵王おろしを 頬に受けて
学舎かこむ 健児等の 誓いし言葉 ひとすじに
おお九百の熱情の 心ぞひとつ むかえ撃つ 群なす敵の
その中に とび散る花は おお南高
- 二 松の緑に 路あかし 阿古耶の姫の 哀しみに
意気で燃えたつ 若人の 誓いし言葉 ひとすじに
おお九百の友情の あつき血潮は 迎え撃つ 乱れる敵の
その中に そびえる旗は おお南高
- 三 はるかに光る 松原の 青き流れに 身を清め
千歳を仰ぐ 健児等の 誓し言葉 ひとすじに
おお九百の青春の 鍛えし胸は 迎え撃つ 崩れる敵の
その中に 輝く勝利の おお南高

若 き 情 熱

ふるえ我等が南高健児

- 一 若き情熱 鉄の意志 一 奮え我等が南高健児
眸輝く 健児等が 青空高らかに 希望をのせて
今堂々と 歩々を行く 鍛えし腕を 示すは今ぞ
決戦の野に 風青し いざ たて たて
二 胸にあふるる 熱血は 今日 栄冠 我にあり
- 二 力凜ふるる南高健児
蔵王の嶺を 日毎に仰ぎて
鍛えし腕を 示すは今ぞ
いざ たて たて
今日 栄冠 我にあり

第 1 部

総 会

第1部 総会

総 会 次 第

司会 高橋 節
(南高18回)

1. 開 会
2. 経過説明
3. 仮議長選出
4. 協議
 - (1) 山形南高等学校同窓会「東京支部」規約 (案)
 - (2) 東京支部役員 (案)
5. 議長選出
6. 議 事
 - (1) 平成14年度事業計画 (案)
 - (2) 平成14年度収支計画 (案)
7. 閉 会

協議資料（１）

山南東京同窓会規約（案）

第 1 条 本会は山形南高等学校同窓会「東京支部」とし、略称「山南東京同窓会」と称する。

第 2 条 本会は「関東地区」に在住する山形県立山形第二中学校、山形県立山形第二高等学校及び山形県立山形南高等学校卒業生並びに校友を以て組織し、事務局を山形県東京事務所（千代田区平河町二丁目 6 - 3 都道府県会館）内に置く。

第 3 条 本会は会員相互の親睦を図ると共に、母校の発展に寄与することを目的とする。

第 4 条 本会は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- 1、母校の事業後援
- 2、会員名簿の発行
- 3、会員相互の連絡、親睦に関する事
- 4、母校同窓会との連絡に関する事
- 5、その他本会の目的に適する事業

第 5 条 本会に次の役員を置く。

- | | |
|--------------|-----|
| 1、会 長 | 1 名 |
| 2、副 会 長 | 若干名 |
| 3、常任幹事 | 若干名 |
| 4、幹事（各卒業年次毎） | 若干名 |
| 5、会計幹事 | 1 名 |
| 6、監 事 | 2 名 |
| 7、顧 問 | 若干名 |

第 6 条 会長、副会長、監事及び顧問は総会で選出し、他の役員は会長が委嘱する。

第 7 条 会長は本会を代表し会務を主宰する。副会長は会長を補佐し、会長が事故ある時は職務を代行する。常任幹事、幹事及び会計幹事は会長の命を受けその会務を処理する。監事は会計を監査する。顧問は重要事項に関し会長の諮問に応ずる。

第 8 条 役員任期は 2 ヶ年とする。但し、再選を妨げない。

第 9 条 総会は年 1 回、臨時総会は随時会長がこれを開催する。

第 10 条 本会の経費は会費（一人年 1,000 円）及び寄付金等をもってこれに当てる。

第 11 条 本会の会計年度は毎年 4 月 1 日に始まり翌年の 3 月 31 日に終わる。

第 12 条 本会会則は総会の決議によりこれを変更することができる。

付 則

本規約は平成 14 年 月 日より施行する。

協議資料 (2)

山 南 東 京 同 窓 会

役 員 (案)

会 長	渡辺 幸雄	(二中 1回)
副会長	森谷 亨	(南高 1回)
副会長	斉藤 常男	(南高 5回)
常任幹事	椿 尋昭	(南高 1回)
常任幹事	土屋 裕司	(南高 2回)
常任幹事	吉野 禮三	(南高 3回)
常任幹事	浅黄 優喜	(南高 4回)
常任幹事	大貫 祐輔	(南高 5回)
常任幹事	江口 光夫	(南高 6回)
常任幹事	鈴木 隆	(南高 9回)
常任幹事	高橋 節	(南高 18回)
常任幹事	安孫子雅敏	(南高 29回)
常任幹事	高橋 健一	(南高 33回)
幹 事	各学年	
監 事	東海林 宏	(南高 8回)
監 事	村上 敏明	(南高 33回)
顧 問	大塚 利実	(二中 1回)
顧 問	会田 雄亮	(二高 2回)
顧 問	丹野 益男	(二高 2回)
会計監事	加藤 忠仁	(二中 2回)

議案資料 (2)

平成14年度収支計画 (案)

収入

単位:円

項目	予算額	摘要
総会会費	2,500,000	10,000円×250人
年会費	250,000	1,000円×250人
繰越金	824,236	南高等学校同窓会関東支部

合計 3,574,236円

支出

単位:円

項目	予算額	摘要
会場使用料	102,900	
懇親会経費	2,340,000	
会議費	30,000	
プログラム印刷経費	50,000	
振込み用紙印刷等経費	400,000	
名札印刷経費	50,000	
事務費	120,000	
予備費	481,336	

合計 3,574,236円

第 2 部

懇 親 会

第2部懇親会

懇親会次第

[I] 懇親会

18:30分～20:30

(ダイヤモンドルーム)

司会 安孫子 雅敏

(第29回)

1. 開会

2. 校歌斉唱

3. 会長挨拶

4. 来賓ご挨拶

山形県立山形南高等学校同窓会会長 千歳 貞治郎 様 (二高 2回)

山形県立山形南高等学校校長 大場 登 様 (南高11回)

山形県副知事 金森 義弘 様 (南高 9回)

5. 来賓ご紹介

6. 支部役員紹介

7. 鏡割

8. 乾杯

9. 懇談

邦楽ミニライブ「尺八と箏のひととき」

尺八 山口 連山(南高29回)

箏 浜根 由香

10. 応援歌「空はコバルト」斉唱

11. 閉会

2002年度山南東京同窓会

出席予定者名簿

[来賓]

山形県副知事	金森	義弘	様	(南高 9回)
山形県立山形南高等学校校長	大場	登	様	(南高 11回)
山形県立山形南高等学校同窓会会長	千歳	貞治郎	様	(二高 2回)
山形県立山形南高等学校同窓会副会長	松田	八郎	様	(南高 1回)
〃	佐藤	充彦	様	(南高 6回)
〃	武田	浩一	様	(南高 11回)
〃	揚妻	奉昭	様	(南高 14回)
山形県立山形南高等学校同窓会				
スポーツOB会会長	藤巻	忠昭	様	(南高 3回)
山形県立山形南高等学校同窓会				
文化部OB会会長	加藤	稔	様	(南高 2回)
山形県東京県人連合会会長	高橋	俊龍	様	

ご案内事項

謹啓 皆様にはますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。さて、本日多数の出席者のもと、約18年ぶりに東京での同窓会を開催することができました。これも一重に皆様のご協力によるもので、厚くお礼申し上げます。

このたびは、総会におきまして、山南東京同窓会の規約が定められ、継続的に会員相互の親睦を図るとともに、母校の発展に寄与するための活動を展開していくこととされました。あわせて、こうした活動を下支えするための運営経費の財源として年会費1000円（同窓総会規約第10条）が承認されたところです。

同窓の士が互いに肩を組み、東京同窓会の活動を次世代に脈々と引き継ぐことが我々の使命と感じているところです。つきましては、趣旨をおくみとりいただき会費の円滑な納入に御協力をお願い申し上げます。なお、納入案内の発送については、平成15年2月に予定しております。

最後になりますが、我が母校そして我が東京同窓会の更なる発展と皆様のご健勝を切にご祈念申し上げます。 謹白

山形南高等学校同窓会東京支部 設立準備会委員名簿

卒業回数	氏名	卒業回数	氏名	卒業回数	氏名	
顧問	大塚 利實	南高 6 回	鈴木 康夫	南高 19 回	折原 光一	
二中 1 回	木村 健	南高 7 回	田中 恒夫	南高 20 回	門脇 登	
	小笠原 昭夫		古瀬 忠良		矢萩 喜従郎	
	山本 暢一		黒田 巖		南高 21 回	青山 朝彦
	渡辺 幸雄		東海林 宏		松村 俊博	
二中 2、3 回	柏倉 昭夫	南高 8 回	山田 勲	南高 22 回	粟野 憲司	
	岩井 叙男		佐藤 博夫	南高 23 回	菊池 正彦	
二中 4 回	中澤 宗吉	南高 9 回	鈴木 隆	南高 24 回	東海林 伸佳	
	木村 隆重		冨木 政邦		鈴木 博之	
	布川 敏雄		鎌倉 崇		清野 明	
二高 2 回	江口 文雄	南高 10 回	佐藤 昌平	南高 27 回	佐藤 浩	
	加藤 忠利		平尾 眞次		阿部 眞司	
南高 1 回	沼田 照	南高 11 回	高井 貞太郎	南高 28 回	梅本 純一	
	森谷 亨		丹野 修一		尾関 良二	
	椿 尋昭		後藤 勇		相馬 和弘	
南高 2 回	山口 正輝	南高 12 回	佐藤 憲章	南高 29 回	後藤 秀彰	
	土屋 裕司	南高 13 回	毛利 昭		高橋 英樹	
南高 3 回	廣瀬 貞夫		南高 14 回	増田 康文	南高 30 回	安孫子 雅敏
	馬場 信親	佐竹 純孝		斎藤 博		
	舟橋 一夫	片桐 久智		南高 32 回		工藤 眞樹
南高 4 回	吉野 禮三	南高 15 回	仲嶋 宣之	南高 33 回	佐藤 賢志	
	浅黄 優喜		高橋 正義		佐竹 良一	
南高 5 回	鏡 清蔵	南高 16 回	佐藤 和彦	南高 35 回	佐藤 孝明	
	清水 登	南高 17 回	岸 秀一		高橋 健一	
	京谷 正義	南高 18 回	高橋 節		斯波 克昭	
南高 6 回	清野 吉六	南高 19 回	雨宮 寛	南高 36 回	渡辺 智	
	江口 光夫		山田 光矢		高橋 雄一	
	阿部 敏		古瀬 正憲		沼沢 肇	

設立準備委員は、山南東京同窓会規約第5条に定める各卒業年次毎の幹事(他の役職に就いた者を除く。)に就任していただきます。

なお、該当者ない卒業年次の幹事は、順次、関係者と協議のうえ追加していきます。

出席者名簿

平成14年11月18日現在

卒業回数	氏名	卒業回数	氏名	卒業回数	氏名	卒業回数	氏名
中1	庄司 政美	南2	今田 幸雄	南8	東海林 宏	南14	東海林成多
中1	高橋昭三郎	南2	東海林恒之	南8	鈴木 隆雄	南14	仲島 宣之
中1	渡辺 幸雄	南2	橋 弘之	南8	山下 史郎	南14	寒河江隆夫
中1	大塚 利實	南2	土屋 裕司	南8	鈴木 征也	南14	佐藤 義基
中2	柏倉 昭夫	南2	廣瀬 貞夫	南8	山田 勲	南14	田島 督晴
中2	三浦孝三郎	南2	前田 和生	南9	片桐 郁夫	南14	豊嶋 豊雄
中4	斎藤 紘司	南2	村山 鎮雄	南9	粟野 賢一	南14	田中 政邦
中4	鎌田 寛	南3	千場 光男	南9	小原征四朗	南15	富塚 俊雄
中4	木村 隆重	南3	中井川秀男	南9	須藤 汕	南15	滝口 成一
中4	鈴木 章夫	南3	大坪とし子	南9	高橋 英也	南15	金子 三成
中4	中澤 宗吉	南3	後藤 宏美	南9	鈴木 隆	南16	橋本 陽二
中4	奥山 正博	南3	藤井千代子	南9	石垣 丘志	南16	岡田 俊彦
中4	佐々木光彦	南3	舟橋 一夫	南9	富木 政邦	南16	千葉 孝雄
中4	名和雄次郎	南3	山本 芳子	南9	富塚 辰雄	南16	佐藤 和彦
中4	布川 敏雄	南3	吉野 禮三	南9	久永 幸一	南17	堀 真慈
中5	小関 国夫	南4	森 寛爾	南9	米屋 武志	南17	大沼 文夫
中5	青木 広治	南4	松田 公	南10	熊谷 吉郎	南17	長岡 勉
中5	加藤 忠利	南4	浅黄 優喜	南10	久連山幹彦	南17	一ノ宮 渡
中5	駒林 誠	南4	大内 立博	南10	高橋貞治郎	南17	岡崎 文雄
中5	清野 定由	南4	鏡 清蔵	南10	青山 昭夫	南17	横山 洋介
高2	江口 文雄	南4	小林 哲朗	南10	尾形 昌広	南17	岸 秀一
高2	沼田 照	南4	佐藤 寛治	南10	佐藤 義幸	南18	安部 義彦
高2	毛馬内 勲	南5	今田 誠司	南10	清野 正昭	南18	押野 勉
高2	丹野 益男	南5	大貫 祐輔	南10	平尾 眞次	南18	岸 泰雄
高2	門間 拓	南5	斉藤 常男	南10	峯田慶一郎	南18	鈴木 芳男
高2	木川 忠	南5	長岡 正哲	南11	有海 豊	南18	高橋 秀一
高2	安西 信行	南6	酒井 稔子	南11	笹原紀三夫	南18	高橋 節
高2	遠藤 良雄	南6	稲田 和夫	南11	工藤 望文	南18	土屋 利蔵
高2	志鎌 登	南6	鈴木 康夫	南11	大村 勝行	南18	森谷 富次雄
高2	鈴木 清三	南6	小関 憲一	南11	富田 隆造	南19	斉藤 誠一
南1	丸山 義皓	南6	佐藤 實	南11	荒井 勲	南19	斉藤 正幸
南1	平 和彦	南6	横尾 正夫	南11	柏倉 常昭	南19	大沼 哲夫
南1	杉山 彬	南6	阿部 敏	南11	高井貞太郎	南19	折原 光一
南1	沼澤 勇一	南6	加藤 芳男	南12	小泉 博一	南19	門馬 直人
南1	相京 清司	南6	寒河江利夫	南12	佐藤 宗克	南19	山口 則雄
南1	今泉 吉弥	南6	佐藤 俊夫	南12	原田 嘉行	南19	横倉 博
南1	尾崎 穰次	南6	江口 光夫	南12	市村 好広	南20	伊藤 元昭
南1	高橋 俊雄	南6	奥山 専逸	南12	佐藤 力	南21	高橋 健
南1	椿 尋昭	南6	石沢 英男	南12	西村 和悦	南22	河内 秀俊
南1	森谷 亨	南6	坂本 成子	南12	加嶋 隆夫	南22	小笠原 生真
南1	山口 正輝	南6	中村 武	南12	菊地 洋志	南23	鈴木 博之
南1	高橋 昌嗣	南6	林 正夫	南12	栗原 将	南24	清野 明
南2	杉山 正樹	南6	村山 惇	南12	毛利 昭	南24	布施木 正美
南2	豊田 恒雄	南6	渡辺 滋	南12	片桐 秀昭	南24	佐藤 浩
南2	梅津 繁	南6	増子 修	南12	粕谷 完二	南24	横尾 道男
南2	加藤 伸	南6	五十嵐金弥	南13	佐竹 純孝	南25	岩間 浩
南2	丹野 輝明	南7	鈴木 英正	南13	大場 正敏	南25	多田 博史
南2	遠藤 義人	南7	西堀 重義	南13	斉藤 恒光	南25	土田 和男
南2	吉田 文男	南7	小松 三郎	南13	武田 誠	南25	村岡 登
南2	中村 靖彦	南7	早坂 仁作	南14	片桐 久智	南25	鈴木 淳一

謝 辞

本日、「山南東京同窓会」を新たに発足させ、18年ぶりに関東一円に在住する同窓生の集いを開催することができました。

このたびは、同窓会山形本部の強い働きかけとご支援をいただき、10月に最初の準備委員会を立ち上げてから本当に短い期間で今日の総会を迎えました。この間、本部並びに関係者からの適切なお意見・ご助言を賜り、また同窓生の皆様からには、積極的な参加をいただき、無事本日の同窓会を開催することができました。心から感謝し、厚くお礼申し上げます。

同窓会の活動については、いろいろな考えがあるかと思いますが、長い社会生活を過ごしてみますと、同じ学舎で学び、鍛えあった仲間との交流が、人生の宝になっていることを確信しているところでもあります。まして、故郷山形を離れ、大都会のこの地で生活をしている者にとって、この想いは何物にも代えがたい精神的な基盤であり続けるものと思います。

今回の会合を機に、同窓の士が互いに肩を組み、東京同窓会の活動を次世代に引き継ぐのも我々の使命と感じているところです。役員一同、今後の諸活動の充実に向けて、一致協力して取り組む所存ですので、皆様方のさらなるご協力とご支援を衷心よりお願い申し上げます。

最後になりますが、我が母校そして我が東京同窓会の更なる発展と皆様のご健勝を切にご祈念申し上げます。

山南東京同窓会会長
渡辺幸雄

出席者名簿

平成14年11月18日現在

卒業回数	氏名	卒業回数	氏名	卒業回数	氏名	卒業回数	氏名
南26	小野 光郎	南29	山口 輝明	南32	長岡 学	南34	庄司 昌吉
南27	伊藤 芳明	南29	三浦 範彦	南32	清野 邦彦	南35	斯波 克昭
南27	豊島 亨	南30	石堂 正美	南32	工藤 真樹	南35	西塚 勉
南27	長谷川儀蔵	南30	大沼 理	南32	佐藤 賢志	南37	尾関 功
南27	尾関 良二	南30	堤 英昭	南33	村上 敏昭	南37	長岡 栄二
南27	武田 謙吾	南30	村山 章裕	南33	青山 雅浩	南38	菊地 真治
南28	奥山 俊一	南30	齋藤 博	南33	西宮 忍	南38	黒沼 篤
南28	会田 吉博	南31	高柳 淳	南33	菊地 浩志	南38	須崎 恭彦
南28	相馬 和弘	南31	西塚 裕行	南33	渋谷 努	南42	栗田 隆司
南29	安孫子雅敏	南32	大沼 浩	南33	粕谷 壮紀		
南29	鈴木 隆	南32	佐竹 良一	南33	佐藤 孝明		
南29	小松 功	南32	佐藤 清徳	南33	高橋 健一		

出席者名簿

平成14年11月28日現在

卒業回数	氏名	卒業回数	氏名	卒業回数	氏名	卒業回数	氏名
高2	会田 雄亮	南17	大関 孝	南31	丹 克之	南37	渡邊 修
南1	鈴木 輝雄	南19	小林 秀夫	南35	村井 清憲		

謝 辞

本日、「山南東京同窓会」を新たに発足させ、18年ぶりに関東一円に在住する同窓生の集いを開催することができました。

このたびは、同窓会山形本部の強い働きかけとご支援をいただき、10月に最初の準備委員会を立ち上げてから本当に短い期間で今日の総会を迎えました。この間、本部並びに関係者からの適切なお意見・ご助言を賜り、また同窓生の皆様からには、積極的な参加をいただき、無事本日の同窓会を開催することができました。心から感謝し、厚くお礼申し上げます。

同窓会の活動については、いろいろな考えがあるかと思いますが、長い社会生活を過ごしてみますと、同じ学舎で学び、鍛えあった仲間との交流が、人生の宝になっていることを確信しているところでもあります。まして、故郷山形を離れ、大都会のこの地で生活をしている者にとって、この想いは何物にも代えがたい精神的な基盤であり続けるものと思います。

今回の会合を機に、同窓の士が互いに肩を組み、東京同窓会の活動を次世代に引き継ぐのも我々の使命と感じているところです。役員一同、今後の諸活動の充実に向けて、一致協力して取り組む所存ですので、皆様方のさらなるご協力とご支援を衷心よりお願い申し上げます。

最後になりますが、我が母校そして我が東京同窓会の更なる発展と皆様のご健勝を切にご祈念申し上げます。

山南東京同窓会会長

渡辺幸雄